

令和3年12月17日
独立行政法人大学入試センター

令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テストに関する 「情報」の出題方法」及び「得点調整の対象教科・科目」について

「令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト実施大綱の予告」（令和3年7月30日付け3文科高第471号文部科学省高等教育局長通知の別紙1）及び「令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト実施大綱の予告（補遺）」（令和3年9月29日付け3文科高第701号文部科学省高等教育局長通知の別紙1）を受けて、標記について決定しましたので、公表します。

【公表資料】

- ・ 令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト「情報」の出題方法について
- ・ 令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テストにおける得点調整の対象教科・科目について

【参考資料】

- ・ 令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テストに関する検討状況について
(令和3年12月)

令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト 「情報」の出題方法について

令和3年12月17日
独立行政法人大学入試センター

新教育課程（平成30年3月告示の高等学校学習指導要領に基づく教育課程）に対応した『情報Ⅰ』とは別に、現行の教育課程（平成21年3月告示の高等学校学習指導要領に基づく教育課程）の「社会と情報」及び「情報の科学」の内容を出題範囲とする経過措置科目『旧情報（仮）』を出題する。

なお、『旧情報（仮）』では、高等学校等において「社会と情報」、
「情報の科学」のいずれの科目を履修していても不利益が生じない
よう、両科目の共通部分に対応した必答問題に加え、「社会と情報」
に対応した問題及び「情報の科学」に対応した問題を出題し、選択解
答させる。

令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テストにおける 得点調整の対象教科・科目について

令和3年12月17日
独立行政法人大学入試センター

令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト（以下「令和7年度共通テスト」という。）における得点調整の対象教科・科目は、**別紙**の考え方にに基づき、以下のとおりとする（別表参照）。

- (1) 地理歴史の『地理総合，地理探究』，『歴史総合，日本史探究』，『歴史総合，世界史探究』，『旧世界史B』，『旧日本史B』，『旧地理B』の間
- (2) 公民の『公共，倫理』，『公共，政治・経済』，『旧現代社会』，『旧倫理』，『旧政治・経済』，『旧倫理，旧政治・経済』の間
- (3) 数学のグループ①の『数学Ⅰ，数学A』と『旧数学Ⅰ・旧数学A』の間
- (4) 数学のグループ②の『数学Ⅱ，数学B，数学C』と『旧数学Ⅱ・旧数学B』の間
- (5) 理科の『物理』，『化学』，『生物』，『地学』の間
- (6) 情報の『情報Ⅰ』と『旧情報（仮）』の間

（注1） 得点調整を実施する場合の条件や方法については、別途定める。

（注2） 現行の大学入学共通テスト（平成21年3月告示の高等学校学習指導要領に対応した大学入学共通テスト）では、『倫理，政治・経済』を得点調整の対象に含めていないが、令和7年度共通テストにおいては『旧倫理，旧政治・経済』を得点調整の対象科目とする。

(別表)

令和7年度共通テストにおける得点調整対象科目について

※ 黒枠で囲っている科目が得点調整対象科目である。

	現行の試験	令和7年度試験	
		経過措置科目	新教育課程科目
国語	『国語』	—	『国語』
地理 歴史	『世界史B』 『日本史B』 『地理B』 『世界史A』 『日本史A』 『地理A』	『旧世界史B』 『旧日本史B』 『旧地理B』 『旧世界史A』 『旧日本史A』 『旧地理A』	『地理総合，地理探究』 『歴史総合，日本史探究』 『歴史総合，世界史探究』 『地理総合，歴史総合，公共』
公民	『現代社会』 『倫理』 『政治・経済』 『倫理，政治・経済』	『旧現代社会』 『旧倫理』 『旧政治・経済』 『旧倫理，旧政治・経済』	『公共，倫理』 『公共，政治・経済』 『地理総合，歴史総合，公共』
数学 ①	『数学Ⅰ・数学A』 『数学Ⅰ』	『旧数学Ⅰ・旧数学A』 『旧数学Ⅰ』	『数学Ⅰ，数学A』 『数学Ⅰ』
数学 ②	『数学Ⅱ』 『数学Ⅱ・数学B』 『簿記・会計』 『情報関係基礎』	『旧数学Ⅱ』 『旧数学Ⅱ・旧数学B』 『旧簿記・会計』 『旧情報関係基礎』	『数学Ⅱ，数学B，数学C』
理科	『物理基礎』『化学基礎』 『生物基礎』『地学基礎』 『物理』 『化学』 『生物』 『地学』	—	『物理基礎，化学基礎， 生物基礎，地学基礎』 『物理』 『化学』 『生物』 『地学』
外国語	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』	—	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』
情報	—	『旧情報（仮）』	『情報Ⅰ』

令和7年度共通テストにおける得点調整の対象教科・科目の考え方

1. これまでのセンター試験及び共通テストにおける科目選択及び得点調整

- 大学入試センター試験（以下「センター試験」という。）及び大学入学共通テスト（以下「共通テスト」という。）においては、これらの試験を利用する各大学に対し、受験者の得点を、正答した設問に割り振られた配点を足し上げた素点で提供することを前提に、試験問題の作成及び答案の採点を行ってきた。

このような試験においては、実施結果により各受験者の素点を調整することはできるだけ行わないようにすべきであり、大学入試センターは、各教科・科目間に著しい平均点差が生じないように、試験問題の作成・点検の段階でできる限りの努力を払うことを基本として、試験問題を作成してきた。

- センター試験及び共通テストは50万人を超える多様な受験者が受験してきた。高等学校の段階における基礎的な学習の達成の程度を判定し、大学教育を受けるために必要な能力を把握するという目的の下、学習指導要領の教科・科目構成や大学の要請に基づき、かつ多様な受験者の受験を可能とするよう、教科によっては複数の科目を出題し、受験者が受験科目を選択することとしてきた。また、出題内容については、不断の改善を図る必要がある。

受験者が、大学進学後の必要性や関心等に応じて科目選択をできるようにするためにも、また科目選択をめぐる不公平感や混乱等を避けるためにも、各科目間で平均点に大きな差が生じないことが重要である。しかしながら、上記のような共通テストの実施形式では、各科目の平均点を毎年度均一にすることには限界がある。

- これまでのセンター試験及び共通テストにおいても、同一教科内の科目間で、ある程度の平均点差が生じることは許容されてきた。しかしながら、同一教科内の科目間で極端な平均点差（20点差以上）が生じた際には、社会的な批判を受けたこともあった。

このような同一教科の科目間の試験問題の平均点差による不公平感や混乱等を緩和するため、対象科目間で20点差以上の平均点差が生じ、それが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合に、得点調整を行ってきたものである。

2. 令和7年度共通テストにおける得点調整の対象教科・科目

- 令和7年度共通テストにおける得点調整の対象教科・科目を検討するに当たっても、1. で述べたこれまでの得点調整の基本的な目的を引き継ぐべきと考えられる。すなわち、教育課程上の各科目の位置付けを踏まえた上で、同一教科の選択科目のうち、試験問題の難易差により平均点差が大きく開くことで、合否等に多大な影響を及ぼすことが予想される科目間は、従来どおり得点調整の対象とすることが必要と考える。

- また、令和7年度共通テストにおいて経過措置科目を出題する教科（地理歴史、公民、数学①、数学②、情報）についても、新教育課程科目と経過措置科目との間で、試験問題の難易差により平均点差が大きく開くことで、合否等に多大な影響を及ぼし、新教育課程履修者と現行の教育課程履修者との間で不公平感や混乱等が生じるおそれがある科目間は、得点調整の対象とすることが必要と考える。

令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト
に関する検討状況について

令和3年12月
独立行政法人大学入試センター

※下線部が令和3年12月に更新された部分です。

令和4年度に高等学校に入学する者から、平成30年3月に告示された、新しい学習指導要領により学ぶこととなります。

このことに対応し、大学入学共通テストも、令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト（以下「令和7年度共通テスト」という。）は、新学習指導要領に対応した試験となります。

令和7年度共通テストについての現在の検討状況は以下のとおりです。

1. 出題科目

出題科目については、「令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト実施大綱の予告」（令和3年7月30日付け文部科学省高等教育局長通知）において、**別添1**のとおり示されました。

2. 実施期日・試験時間・経過措置

実施期日、試験時間及び現行の教育課程（平成21年3月告示の高等学校学習指導要領に基づく教育課程）履修者のための経過措置については、「令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト実施大綱の予告（補遺）（令和3年9月29日付け文部科学省高等教育局長通知）」において、**別添2**のとおり示されました。

3. 出題方法・問題作成方針

新学習指導要領を踏まえた各教科・科目の問題作成の方向性について、大学入試センターにおける専門の委員会等で検討し、令和4年度中に公表します。その後、令和7年度共通テストの出題教科・科目の出題方法及び問題作成方針を、令和5年6月までに公表します。

○地理歴史，公民，数学，情報

科目構成が大きく変わる地理歴史，公民，数学と，新たに出題教科として設定される情報については，各出題科目の全体の構成がわかる試作問題（配点付き）を作成します。

なお，情報については，別添3のとおり，新教育課程（平成30年3月告示の高等学校学習指導要領に基づく教育課程）に対応した『情報Ⅰ』とは別に，現行の教育課程の「社会と情報」及び「情報の科学」の内容を出題範囲とする経過措置科目『旧情報（仮）』を出題します。この『旧情報（仮）』についても，試作問題（配点付き）を作成します。

○国語

多様な文章を提示し，より思考力・判断力・表現力等を発揮して解くことが求められる問題を重視した出題を一層工夫していく観点から，問題量を増やす方向で問題作成の方向性や構成等を検討します。

○英語（外国語）

引き続き「読むこと」「聞くこと」（IC プレーヤーを使用）を中心としつつ，高等学校までの教育で培った総合的な英語力を可能な限り評価できるように，問題作成の方向性を検討します。

4. 得点調整

得点調整の対象教科・科目については，別添4のとおりとします。

なお，得点調整の実施方法については，これまでの実施方法が受験者等の間では概ね定着していることを踏まえながら，新教育課程の下でも適切な調整方法となるよう検討していきます。

5. 今後のスケジュールについて

※【 】内は公表主体

令和4年秋冬頃	・各教科・科目の問題作成の方向性（地理歴史，公民，数学，情報の試作問題を含む）の公表【センター】
令和4年度中	・大学入学共通テスト利用教科・科目の予告【各大学】
令和5年6月頃	・「令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト実

<p>令和6年6月頃</p>	<p>施大綱」の公表【文部科学省】 (予告した出題教科・科目等を含む試験の実施方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪「令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト出題教科・科目の出題方法及び問題作成方針」の公表【センター】 (経過措置を含めた出題方法, 科目選択の方法など) ▪「令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト実施要項」の公表【センター】 (出願方法, 時間割など)
----------------	---

令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト実施大綱の予告

1. 令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト実施大綱において定める出題教科・科目

教科	グループ	出題科目
国語		『国語』
地理歴史		『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『地理総合、歴史総合、公共』
公民		『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合、歴史総合、公共』（再掲）
数学	①	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』
	②	『数学Ⅱ、数学B、数学C』
理科		『物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎』 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』
外国語		『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』
情報		『情報Ⅰ』

[補足]

- (1) 試験形態は、問題冊子及びマークシート式解答用紙を使用し、紙で実施するものとする。
この形態に加え、外国語の『英語』については、ICプレイヤーを使用する試験も実施するものとする。
- (2) 地理歴史及び公民については同一の試験時間に実施するものとする。
- (3) 数学については、①及び②の出題科目のグループごとに試験時間を分けるものとする。
- (4) 入学志願者は各大学の指定に従い、以下のとおり解答するものとする。
 - 1) 地理歴史及び公民については、以下のとおりとする。
 - ア 上記6出題科目のうちから最大2出題科目を選択。
 - イ 『地理総合、歴史総合、公共』を選択する場合については、出題範囲（「地理総合」、「歴史総合」、「公共」）のうち、いずれか2科目（「地理総合」及び「歴史総合」、「地理総合」及び「公共」、「歴史総合」及び「公共」）の内容の問題を選択解答。
 - ウ 2出題科目を選択する場合には、以下の組合せ以外の出題科目の組合せを選択。（別表参照）
 - ・『公共、倫理』と『公共、政治・経済』の組合せを選択することはできない。
 - ・『地理総合、歴史総合、公共』を選択した者は、選択解答した問題の出題範囲の科目と同一名称を含む科目の組合せを選択することはできない。
 - 2) 数学については、以下のとおりとする。
 - ア グループ①については、上記2出題科目のうちから1出題科目を選択。
 - イ グループ②については、『数学Ⅱ、数学B、数学C』の出題範囲のうち、「数学B」及び「数学C」は、「数学B」の2項目の内容（数列、統計的な推測）及び「数学C」の2項目の内容（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面）のうち3項目の内容の問題を選択解答。

3)理科については、以下のとおりとする。

ア 上記5出題科目のうちから最大2出題科目を選択。

イ 『物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎』を選択する場合には、出題範囲(「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」)のうち、いずれか2科目の内容の問題を選択解答。

2. 本通知は、令和5年6月までに発出予定の「令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト実施大綱」において定める出題教科・科目等の予定について周知するものであり、今後の試験実施状況等に応じて変更し得るものであること。

(別表)

地理歴史・公民における出題科目を選択する場合の選択方法について

	『地理総合、 地理探究』	『歴史総合、 日本史探究』	『歴史総合、 世界史探究』	『地理総合、歴史総合、公共』			『公共、 倫理』	『公共、 政治・経済』	
				「地理総合」 及び 「歴史総合」	「地理総合」 及び 「公共」	「歴史総合」 及び 「公共」			
『地理総合、 地理探究』		○	○	×	×	○	○	○	
『歴史総合、 日本史探究』	○		○	×	○	×	○	○	
『歴史総合、 世界史探究』	○	○		×	○	×	○	○	
『地理総合、 歴史総合、 公共』	「地理総合」 及び 「歴史総合」	×	×	×				○	○
	「地理総合」 及び 「公共」	×	○	○				×	×
	「歴史総合」 及び 「公共」	○	×	×				×	×
『公共、倫理』	○	○	○	○	×	×		×	
『公共、政治・経済』	○	○	○	○	×	×	×		

※上記6出題科目のうちから2出題科目を選択する場合は、「○」の組合せから選択でき、「×」の組合せは選択できない。

令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト実施大綱の予告（補遺）

1. 実施期日等

令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テストは、2日間で実施するものとする。

なお、具体的な実施期日については、令和5年6月初旬までに通知を予定している「令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト実施大綱」において定めることとする。

2. 出題教科・科目の試験時間

地理歴史、公民、数学①（『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』）、理科及び外国語の試験時間は、「令和5年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト実施大綱」（令和3年6月4日付け3文科高第285号文部科学省高等教育局長通知）に定める試験時間と同様とする。

国語、数学②（『数学Ⅱ、数学B、数学C』）及び情報の試験時間については、以下のとおりとする。

- (1) 国語：現在測定している内容を維持した上で多様な文章を提示する観点から、90分とする。
- (2) 数学②：出題範囲が「数学Ⅱ」、「数学B」及び「数学C」となり、選択解答する項目数が2から3へ増加するため、70分とする。
- (3) 情報：出題範囲や他教科の試験時間等を考慮し、60分とする。

以上を踏まえ、各教科・科目の試験時間は次のとおりとする。

教科	グループ	出題科目	試験時間
国語		『国語』	90分
地理歴史		『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『地理総合、歴史総合、公共』	1科目選択 60分 2科目選択 130分 (うち解答時間 120分)
公民		『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合、歴史総合、公共』(再掲)	
数学	①	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』	70分
	②	『数学Ⅱ、数学B、数学C』	70分
理科		『物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎』 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	1科目選択 60分 2科目選択 130分 (うち解答時間 120分)
外国語		『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』 ※『英語』については、ICプレーヤーを使用する試験も実施。	80分 【ICプレーヤーを使用する試験】 60分 (うち解答時間 30分)
情報		『情報Ⅰ』	60分

3. 現行の教育課程履修者への経過措置

現行の教育課程(平成 21 年3月告示の高等学校学習指導要領に基づく教育課程)を履修した入学志願者に対しては、次のとおり経過措置科目を出題することとし、その詳細については、大学入試センターにおいて定めるものとする。

教 科	グループ	経過措置科目	試験時間
地理歴史		『旧世界史A』、『旧世界史B』、 『旧日本史A』、『旧日本史B』、 『旧地理A』、『旧地理B』	1科目選択 60分 2科目選択 130分 (うち解答時間 120分)
公 民		『旧現代社会』、『旧倫理』、『旧政治・経済』、 『旧倫理、旧政治・経済』	
数 学	①	『旧数学Ⅰ』、『旧数学Ⅰ・旧数学A』	70分
	②	『旧数学Ⅱ・旧数学B』、『旧数学Ⅱ』、『旧簿記・ 会計』、『旧情報関係基礎』	70分

新たな出題科目『情報Ⅰ』については、現行の教育課程における選択必修科目「社会と情報」「情報の科学」に対応する経過措置を講じることとする。経過措置科目を出題するか、『情報Ⅰ』の試験問題の中に選択解答できる問題を出題するかは、今後、大学入試センターにおいて検討する。

また、理科については、新教育課程(平成 30 年3月告示の高等学校学習指導要領に基づく教育課程)及び現行の教育課程の間で、学習指導要領及び教科書において扱いが異なる内容に関しては、必要に応じて、現行の教育課程履修者が選択解答可能な問題を出題する場合がある。

令和 7 年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト 「情報」の出題方法について

令和 3 年 12 月 17 日
独立行政法人大学入試センター

新教育課程（平成 30 年 3 月告示の高等学校学習指導要領に基づく教育課程）に対応した『情報 I』とは別に、現行の教育課程（平成 21 年 3 月告示の高等学校学習指導要領に基づく教育課程）の「社会と情報」及び「情報の科学」の内容を出題範囲とする経過措置科目『旧情報（仮）』を出題する。

なお、『旧情報（仮）』では、高等学校等において「社会と情報」、「情報の科学」のいずれの科目を履修していても不利益が生じないよう、両科目の共通部分に対応した必答問題に加え、「社会と情報」に対応した問題及び「情報の科学」に対応した問題を出題し、選択解答させる。

令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テストにおける 得点調整の対象教科・科目について

令和3年12月17日
独立行政法人大学入試センター

令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト（以下「令和7年度共通テスト」という。）における得点調整の対象教科・科目は、**別紙**の考え方にに基づき、以下のとおりとする（別表参照）。

- (1) 地理歴史の『地理総合，地理探究』，『歴史総合，日本史探究』，『歴史総合，世界史探究』，『旧世界史B』，『旧日本史B』，『旧地理B』の間
- (2) 公民の『公共，倫理』，『公共，政治・経済』，『旧現代社会』，『旧倫理』，『旧政治・経済』，『旧倫理，旧政治・経済』の間
- (3) 数学のグループ①の『数学Ⅰ，数学A』と『旧数学Ⅰ・旧数学A』の間
- (4) 数学のグループ②の『数学Ⅱ，数学B，数学C』と『旧数学Ⅱ・旧数学B』の間
- (5) 理科の『物理』，『化学』，『生物』，『地学』の間
- (6) 情報の『情報Ⅰ』と『旧情報（仮）』の間

（注1） 得点調整を実施する場合の条件や方法については，別途定める。

（注2） 現行の大学入学共通テスト（平成21年3月告示の高等学校学習指導要領に対応した大学入学共通テスト）では，『倫理，政治・経済』を得点調整の対象に含めていないが，令和7年度共通テストにおいては『旧倫理，旧政治・経済』を得点調整の対象科目とする。

(別表)

令和7年度共通テストにおける得点調整対象科目について

※ 黒枠で囲っている科目が得点調整対象科目である。

	現行の試験	令和7年度試験	
		経過措置科目	新教育課程科目
国語	『国語』	—	『国語』
地理 歴史	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 『世界史B』 『日本史B』 『地理B』 </div> 『世界史A』 『日本史A』 『地理A』	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 『旧世界史B』 『旧日本史B』 『旧地理B』 </div> 『旧世界史A』 『旧日本史A』 『旧地理A』	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 『地理総合，地理探究』 『歴史総合，日本史探究』 『歴史総合，世界史探究』 </div> 『地理総合，歴史総合，公共』
公民	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 『現代社会』 『倫理』 『政治・経済』 </div> 『倫理，政治・経済』	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 『旧現代社会』 『旧倫理』 『旧政治・経済』 『旧倫理，旧政治・経済』 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 『公共，倫理』 『公共，政治・経済』 </div> 『地理総合，歴史総合，公共』
数学 ①	『数学Ⅰ・数学A』 『数学Ⅰ』	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 『旧数学Ⅰ・旧数学A』 </div> 『旧数学Ⅰ』	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 『数学Ⅰ，数学A』 </div> 『数学Ⅰ』
数学 ②	『数学Ⅱ』 『数学Ⅱ・数学B』 『簿記・会計』 『情報関係基礎』	『旧数学Ⅱ』 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 『旧数学Ⅱ・旧数学B』 </div> 『旧簿記・会計』 『旧情報関係基礎』	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 『数学Ⅱ，数学B，数学C』 </div>
理科	『物理基礎』『化学基礎』 『生物基礎』『地学基礎』 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 『物理』 『化学』 『生物』 『地学』 </div>	—	『物理基礎，化学基礎， 生物基礎，地学基礎』 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 『物理』 『化学』 『生物』 『地学』 </div>
外国語	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』	—	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』
情報	—	『旧情報（仮）』	『情報Ⅰ』

令和7年度共通テストにおける得点調整の対象教科・科目の考え方

1. これまでのセンター試験及び共通テストにおける科目選択及び得点調整

- 大学入試センター試験（以下「センター試験」という。）及び大学入学共通テスト（以下「共通テスト」という。）においては、これらの試験を利用する各大学に対し、受験者の得点を、正答した設問に割り振られた配点を足し上げた素点で提供することを前提に、試験問題の作成及び答案の採点を行ってきた。

このような試験においては、実施結果により各受験者の素点を調整することはできるだけ行わないようにすべきであり、大学入試センターは、各教科・科目間に著しい平均点差が生じないように、試験問題の作成・点検の段階でできる限りの努力を払うことを基本として、試験問題を作成してきた。

- センター試験及び共通テストは50万人を超える多様な受験者が受験してきた。高等学校の段階における基礎的な学習の達成の程度を判定し、大学教育を受けるために必要な能力を把握するという目的の下、学習指導要領の教科・科目構成や大学の要請に基づき、かつ多様な受験者の受験を可能とするよう、教科によっては複数の科目を出題し、受験者が受験科目を選択することとしてきた。また、出題内容については、不断の改善を図る必要がある。

受験者が、大学進学後の必要性や関心等に応じて科目選択をできるようにするためにも、また科目選択をめぐる不公平感や混乱等を避けるためにも、各科目間で平均点に大きな差が生じないことが重要である。しかしながら、上記のような共通テストの実施形式では、各科目の平均点を毎年度均一にすることには限界がある。

- これまでのセンター試験及び共通テストにおいても、同一教科内の科目間で、ある程度の平均点差が生じることは許容されてきた。しかしながら、同一教科内の科目間で極端な平均点差（20点差以上）が生じた際には、社会的な批判を受けたこともあった。

このような同一教科の科目間の試験問題の平均点差による不公平感や混乱等を緩和するため、対象科目間で20点差以上の平均点差が生じ、それが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合に、得点調整を行ってきたものである。

2. 令和7年度共通テストにおける得点調整の対象教科・科目

- 令和7年度共通テストにおける得点調整の対象教科・科目を検討するに当たっても、1. で述べたこれまでの得点調整の基本的な目的を引き継ぐべきと考えられる。すなわち、教育課程上の各科目の位置付けを踏まえた上で、同一教科の選択科目のうち、試験問題の難易差により平均点差が大きく開くことで、合否等に多大な影響を及ぼすことが予想される科目間は、従来どおり得点調整の対象とすることが必要と考える。

- また、令和7年度共通テストにおいて経過措置科目を出題する教科（地理歴史、公民、数学①、数学②、情報）についても、新教育課程科目と経過措置科目との間で、試験問題の難易差により平均点差が大きく開くことで、合否等に多大な影響を及ぼし、新教育課程履修者と現行の教育課程履修者との間で不公平感や混乱等が生じるおそれがある科目間は、得点調整の対象とすることが必要と考える。